



禪河集稿

服部文庫
イ 17
2249



417 特
2249

歌文評語集



服部 元彦

① ぼむることば

ーと云ふいと興あり

ーーーその興あり

ーをやがてーのーによめる無あり

石をよむ無きこにありす (石を兼世無)

逸無ありとぞらし

逸無あり

逸無ありに似たり

無

面白

をう

よき
まじ
あらし

たををし面白くする

ふこをばまきて面白くする

おこいおはうりあく面白し

一一とつにけしるさま面白くする

一を一一もつてつてつての一一を座懐ちう面白くする

一はとつにけしるさま面白くする

一とつにけしるさま面白くする

一とつにけしるさま面白くする

一とつにけしるさま面白くする

一とつにけしるさま面白くする

たををし面白くする

たををし面白くする

たををし面白くする

たををし面白くする

たををし面白くする

たををし面白くする

たををし面白くする

たををし面白くする

たををし面白くする

たををし面白くする

の
の
の
の
の
の
の
の
の
の

は
と
あ
ら
う

さるべうーはゆのこころに
さるべうーはゆのこころに
さるべうーはゆのこころに
さるべうーはゆのこころに
さるべうーはゆのこころに

あ
ら
う
と
せ
ま
う
あ
ら
う

あらうに似たり
あらうに似たり
あらうに似たり
あらうに似たり
あらうに似たり
あらうに似たり
あらうに似たり
あらうに似たり
あらうに似たり
あらうに似たり

優

心
あ
ら
う
心
あ
ら
う

心あらし
心あらし
心あらし
心あらし
心あらし
心あらし
心あらし
心あらし
心あらし
心あらし

心あらし
心あらし
心あらし
心あらし
心あらし
心あらし
心あらし
心あらし
心あらし
心あらし

ふん
ふん

雑

雑

さきさき雑れしひささき雑きくさめ
 いふのさして雑きんも
 一と佐る。物言ひさすされど一と中佐れに雑き
 べふさしたる
 さきさき雑れしひささき雑きくさめ
 さきさき雑れしひささき雑きくさめ
 一と佐ると言ふは、一と佐るに似たり

廣

金玉

華耳

通

歌

抄

不

神

抄

耳をかくるふひらきすぢあり

一金玉と云ふ

耳をかくる一と佐る

一と佐ると言ふは、一と佐るに似たり

耳をかくる一と佐る

あつらうちすてさしひのふ又すてさし

仍そちしひつくすまゆ

まこころ抄集をよみあははぢぢぢぢぢぢぢ

かま心いふく

一と佐ると言ふは、一と佐るに似たり。神妙まじり
他人のないうすしん性三三三のうすしんまじりてこそ佐らぬ

末ねく

十右

末ねく

一とほろり...すあよやく...
あま...すあ...あま...あま...

凡情つまずしおめえさし

あやうもともあさるすさるえさし

又さ

あま

あま

月よ白りてあをより...あまのあま...あま...

一と甲いぬき...あま...あま...

あま...あま...あま...

一とあま...あま...あま...

又さあま...あま...あま...

あま...あま...あま...

あま...あま...あま...

あま...あま...あま...

あま...あま...あま...

あま...あま...あま...

あま

あま

世に
叶字
世に

一とほうてそとらむにれしとては
あまふれすやめ

胸のうづらさすやめ

つ
ずう

そらぞこ

るりともそとらむ

風
を
か

世に

風をそとらむ
風をそとらむ

一とほうてそとらむ

あ
せ

あせむにせむ
あせむにせむ

ふんふんいふふんふんふん

あ
あ

いふふんふんふんふん

返無傳ふす

あ

あ

あ

あふふふあ

あふふふあふふふあふふふあ

いたくみふれど

いふふふあふふふあ

いとよくついでれど

あふふふあふふふあ

あふふふあふふふあ

あふふふあふふふあ

あふふふあふふふあ

ましをうらぶらや

ーのふ定りんとまづるを勝

ーひそやさいをうらぶらや

後を勝負あふくーはあうの勝や

さすうすてがしり勝

ーこころをうらぶらや

三すまゆしをうらぶらやーを勝作ぬ

か依有無うる勝

ー

ましをうらぶらや

ましをうらぶらや

ましをうらぶらや

ーとふら下句あしをうらぶらや

ーはふせありましをうらぶらや

右はうしをうらぶらや

他人のなするん持る等の山をうらぶらや

言の逸無き不化よあり

右をうらうにまゝをまゝにたをるゝをきくはるゝ

④頁と定むるにまは

いやしくせんまけはるゝ
なみ及びうらうら

ちやうくしてる物

(无...)

おとやうて

おとやうて

ちやうくしてる物

おとやうて

おとやうて

おとやうて

おとやうて

おとやうて

おとやうて

おとやうて

おとやうて

おとやうて

おとやうて

何よつけまのせいで

まけらちきりうて

あしんぼりの晴方を論ずべし

たねとて子まきるのやうし

